婦人新報

第百八拾六號

日本基督教婦人矯風會

439

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人新報第百八十六號目次

社説
今上天皇陛下
をしへの庭

講演
良心の聲　霊南坂教會牧師　小崎弘道氏
ガルバリ山の十字架　救世軍大佐心得　山室軍平氏
神の恵は無條件にて受くべし　早稲田教會牧師　三井芳太郎氏
信仰の餘恵　藤田寛太郎氏
廢娼問題と婦人　成女高等女學校長　宮田脩氏

もしほ草
すぎこしかた　矢島楫子

ホーム
米國よりの書翰
諒闇の年の暮　女子學院　清水きよ子

はたらき
消息、本部だより

社告

◎婦人新報定價(郵税共)
一部(前金)　金六錢
六部(前金)　金三十五錢
十二部(前金)　金七十錢
(郵券代用一割増)

◎廣告料
一行(五號活字)　金十錢

大正元年十二月廿三日印刷
大正元年十二月廿五日發行
發行兼印刷人　矢島楫
編輯人　高原孝
發行所　婦人新報社　東京市麹町區上二番町卅三　矢島方
編輯及事務所　麹町區上二番町卅三　矢島方

No. 186　DECEMBER. 1912

WOMAN'S HERALD.

CONTENTS.

The Voice of Conscience.......................Mr. Kozaki.
The Cross of Calvary.......................Mr. Yamamuro.
No Conditions Necessary to obtain the mercy of God.......................Mr. Mitsui.
Venefits of Faith.......................Kr. Fujita.
Women and Secret Prostitution.........Mr. Miyata.
Reminiscence.......................Mrs. Yajima.
A Retter from America.......................
Literature.......................Miss. Shimizu.
Reports.......................

FUJIN SHIMPO OFFICE.

c/o Mrs. Yajima, No. 33 Kaminibanchō Kojimachi, Tokyo.

70 sen per Annum. Single Copy 6 sen.

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

産婦人科
小兒科

鷲山改め
女醫 吉岡彌生

△院長診察 宅診午前 往診午後
△醫員診察 午後

産室及病室の設けあり隨時入院の需めに應ず

東京市麹町區飯田町
四丁目三十一番地
東京至誠病院
電話番町二二五七番

看護婦并に見習生
募集

東京芝區葺手町五番地
渡邊看護婦會
會主 渡邊鑅子
電話芝壹三九三番

本年も相變らず

アントニオ、フオハッツアロ原作
小野村林藏、吹田佳三君共譯

小説 **聖者**

定價一圓二十錢 郵稅十二錢

菊判函入 裝釘優美

南歐の美國、伊太利半島は、げに詩に充ち、夢に滿つ。その詩と、夢との郷土の情は、凝つて一篇の「聖者」となりぬ。既に伊太利文學の花也。

アルプスの寒風もこゝにきて、薔薇花の香を含み、地中海の激浪も、こゝにきて、姫液の夢を結ぶとかや。

松本雲舟氏譯

新刊 **日々の祈**

新年元旦よりの、御使用に備ふ。先哲古聖が祈禱の模範！

定價四十錢 郵稅六錢

小西増太郎君著

聖地パレスチナ

定價壹圓 郵稅六錢 寫眞版數十枚入

發兌 東京銀座 警醒社書店 振替東京五五三號

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人新報

第百八拾六號

今上天皇陛下の御盛德

今上天皇陛下御踐祚ましまして始めて迎へ給ふ新年に當りて、謹みて洩れ承れる陛下の御盛德を記し、大正の御代の萬歳萬々歳ならんことを壽ぎ奉らん。

古來天皇を讃へ奉る詞に叡聖文武と申上る語あり。陛下は唯讃辭として此語を稱し奉るのみにはあらで、實に克く文克く武にましまして叡聖と稱讃し奉る御實德を具へさせ給へり。陛下が未だ東宮殿下と申上し時の事なり。彼の日清の役に先帝陛下には大纛を廣島に進めさせ給ひ、日夜萬機に御勵精あらせられし時、東京に御座ありし陛下には、御父陛下の大御心を體し給ひて軍事に御意を注がせ給ひしは日頃にも倍したるが、殊に夜も闌くるまで御寢に就かせたまはず、學業に大御心を痛めさせ給ひければ、近侍の人々、かくては御攝生の上にも如何あらむかと、折節の御遊を請ひ奉りけるに『父陛下には遠く廣島のいぶせき行營に御任して日夜軍國の機務に大御心を勞せさせ給ふを思ひ奉れば予が學業を勵むが如きはいふにも足らざる當然の事のみ』と仰せ給ひ、其後もさら〳〵怠らせ給はず又朝にはまだきに起き出で、行在の方に向ひ、遙拜を行はせらるゝを日毎の御例となし給ひしとぞ承る。又三十七年の御事なりき、皇后陛下（今の皇太后陛下）聊か御不例にわたらせられしに、親しく傷病兵を御慰問あらせられむとて、陸軍病院に行啓したまひければ、陛下には殊の外に御心を痛め給ひ『御母陛下には萬一

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の御障りなどあらせられずや」とて侍醫の者に數回御下問ありければ、人々御孝徳の篤きに感じ奉りぬ。昨年先帝陛下御重患に渡らせ給ひし時、今上陛下には折しも御不例未だ全癒ましまさず、參内の上御看護申上ぐる事もならで、御心のみいらち給ひしが、先帝陛下御大漸と聞しめして、侍醫の言上をも容れ給はず、直に御入洛の上參内して御枕邊に御看護申上げ、崩御まし〳〵ては御愁傷限りなく、宮中の殯殿には如何なる日にても御親祭あらせられ、今日にても一週一回は必ず出御ありて殯殿を御拜あらせらるゝと共に、皇太后陛下の御機嫌を奉伺し給ふと承る御孝道の程ぞ有難き。

又御勵精に渡らせ給ふことは、學習院にましますの頃は日々五時間の御課業を勵み給ひ、又國學、漢學、佛語等を御勸學あらせられて些しの御怠りもあらせられず先帝陛下崩御の後は炎熱燬くが如きにも係らず、萬機に御精勵あらせられ、過る頃は東京灣の大觀艦式を御統監遊ばし、一週日を過ぎざるに又埼玉縣の陸軍大演習に數日間御統監遊ばされ、御還幸後も一日二日を隔てゝ又陸軍大學、砲工學校等へ御臨幸まします等、御天職とは云ひながら我等臣民の爲に勞させ給ふ大御心は畏しくも又有り難きことどもなり。

御儉德高きことは全く先帝陛下の御遺德を紹ぎ給ふものと拜し奉る。埼玉の大演習の行在所には埼玉中學校を宛てさせ給ひけるが、質素を旨とし只事足るほどに修理を加へよとの御諚ありたる由にて、御卓、椅子など皆樅造りの木地の質素なるを用ひさせ給ひ「朕は何所までも乘馬で統監をなすべし」と仰せられ、御躬づから戰線にも立ち入らせ給ひて、御野立所なども設けさせられずと承るだに畏し。

陛下は又臣民を愛し玉ふこと殊に深く、埼玉の大演習には御乘馬にて御統監あらせられたるにも係はらず元老の老人どもには馬車のまゝにて拜觀差支なしとの御諚を賜はり、大山元帥、桂侍從長、渡邊宮内大臣などは皆馬車にて御供し、聖恩の有り難きに感泣したりとぞ。又過る頃青山離宮より日々宮城に出御ましまます

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時、御道筋電車線路に添ひたれば、御通過の間電車を止めて御警蹕申上げたるに、かく人民の交通を妨ぐるは心苦し、電車を止むるに及ばずとの御諚を賜はりたりと承るが、かくては餘りに勿體なしとて、其儘電車を止めたるを臠はして、然らば成るべく電車に沿はぬ道を撰めとて迂廻せる御道筋に變更し給ひぬ。陛下の御仁徳は獨り臣民を愛し給ふのみならず、動物までをもあはれと思召す大御心は承るだに感泣の外なし。去ぬる年沼津の御用邸におはしけるとき、御獵に出で立たせ給ひ、一頭の鹿を打留めさせられたるが、其夜の御口すさみに

おもしろくうちはしつれとさをしかの
なく聲きけはあはれなりけり

と詠ませ給ひけり。難波の天皇の菟餓野の古事をさへ懐出されていとも畏し。

かく文徳にも武徳にも優れさせ給へる陛下を父として戴ける我六千萬の民草の幸福如何ばかりぞ。皇后陛下の御淑徳もいや高く、慈悲の御心に富ませ給ふことは申すも更なり、御學業も優れ、圖書音樂をも嗜み給ひ、敷島の道にも秀で時々は漢詩をものし給ふと承る。殊に彈箏は御堪能にて未だ皇太子妃殿下と申し上げし時、瑤階月明かなる夜、霓裳羽衣の秘曲に空行く雲を遏め給ひし御風情いとゆかしく拜しまゐらせしと近侍の者の語るを承りぬ。又御儉德に富み給ふて御服御調度まで、凡て質素を旨とし給ひ、女官などは申すに及ばず下々まで御憐みを垂れ給ふ大御心の程承るだに畏し。御幼少に渡らせ給ひし時よりかく御坤徳いやが上にも高くましまし〻かば、早く英照皇太后陛下にはいたく陛下を愛でさせ給ひ、皇太后陛下の御座所なる青山御所に御參候あらせられし時には、毎に有り難き御諚を賜はり『あはれ國母の器や』と御稱讃あらせ給ひしも理りなりけり。

記し奉れば、兩陛下の御聖德、濱の眞砂の數盡きざれども、今はたゞ其一つ二つを書きしるし奉るのみ。あはれ大正の叡聖文武なる天皇陛下、皇后陛下。萬歲萬々歲榮えまさんことを謹みて祈り奉る。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

良心の聲

霊南坂教會牧師　小崎弘道

▲人は神に象どりて造らる

人間と云ふものは神様の教によりますと、神の形態によりて作られたと創世記に出て居る。支那などでは人間は萬物の霊であると云はれます。身は僅か五六尺であるが天地を支配なさる神様の性が備はつてあるので西洋人は小天地なりと申して居ります。人が一番に尊い處は良心と云ふものであります。昔から色々と称へ方が違ひますが、支那の書經などには「道心」と記してあり、「人心之れ危く道心之れ微なり」と舜が禹に教へたさうであります。孟子には之を「是非の心」と書てある。之は善惡をすぐに感ずる心があるからであり升。例令ば利巧な人だけれども誠にコスイやりかたをして他の人を陥し入れるとか、又人が一時のがれに虚言を云ふとかして人から責られませんでも、何時迄も心にとがめて居ります。之に反して善い事をした時には心の内が愉快で〳〵でたまりません、之が是非の心があるによつて分るのであります。

▲良心は神の聲なり

キリスト教の方では良心と云ふ者は神の聲であると申して自分に判断のつかぬ事を神様に伺ひますと良心によりて御告になるのであります、良心が始終覺めてさへ居れば差支はないが、時々眠て居る様な事では仕方がない。「肉の心」と「霊の心」と聖書にありますが肉の心とは慾の事で、霊の心とは即ち良心である。時々慾の事を思ひ煩ふ毎に霊の心で之に打勝たなければなりません。聖書に「其心には願ふなれど肉體弱きなり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

と」記してある。それは人間は始終靈の眼が覺めて居れば間違はない、いつでもはつきりと判斷がつきますが、眠て居る時は靈の心が壓倒されて仕舞のであります。一般人の有樣を見ますと良心はありましても眠つて居るため心の何處かにおし詰められて、何の働もしないで、肉慾、財產慾、色々な傲慢、我儘、或は人を見下したり、怨むと云ふ心が跋扈して、一番主人となるべき良心は分らないのが多い樣に見えます。

　キリストが此世に御出になつたのは、眠つて居る心を叩いて起して下さる爲であります。默示錄に「見よ我戶の外にてたゝく」とあり、その戶を開けばキリストが一處に居て下さる、そこで始めて人の人たる道が全ふされるのであります。イエスが「御前はどうか」と仰つて下さる時私共が眼を覺して何ふ云ふ聲を出して宜しいのですか、聖書には眼を覺した時に叫んだ聲が四ケ所程出て居ります。路加傳三章十節にバプテスマのヨハネが悔改のバプテスマを說きし時ヨハネの言を聞て良心の眼を覺した人が少くなかつた「人々ヨハネに聞て云く我等何をなすべきか」とみつぎとり（昔は惡い事をして人々をいぢめた人）、兵隊（兵士は昔は人の物を奪つたりしていやがられた）も皆そう申しました。人が何かしなければならぬと感じます時はもはや救はれたのであります。使徒行傳二章三十七節にペテロが神のみ靈を受まして適切な說教を致し、其教を聞て悔改めた人は三千人、五千人と申してあります。是は非常に信仰が起つた時で、聞た人々の心は針で刺されるか、錐でつかれる樣であつたのです、人々ペテロと他の弟子に云けるは「我等何をなすべきか」と。答へて「汝よろしく悔改めてバプテスマを受べし」と申した。

▲何をなすべきか

　使徒行傳九章の初にイエスの弟子の內尤も偉いと云はれたパウロが悔改めない內の名はソーロと申して、最初飽迄敎に反對をして信者を妨害し皆捕へては獄に入れ、隨分遠方へ迄も出かけて迫害を致しダマスコに

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

行く途中でキリストの召を受けて悔改めた事は皆様御承知の通りで、彼はやはり「主よ我に何をなさしめんとし給ふや」と申しました。「何をなすべきか」と云ふ事は眞に良心の覺めた時の事であります。

▲キリストを手本とせよ

私共は第一の神樣の旨に從ふ事が大事でありますが只ぼんやり從ふばかりでなく、それ〳〵きまつた仕事があります。或は家の内の仕事、孫の世話、慈善の事教會の手傳、矯風會とか云ふ樣に手傳をするのは大切であります。良心の覺めた時ははつきりとさとる事が出來ます。只々日を暮して仕舞さへすれば善いのなら蟲けら同樣であります、何か適當の御用をする筈であります。馬可傳十四章十九節、終の晩餐の事が記してありますが、イエスはユダの事をよく御存じで「一人我を渡す者がある」と仰せられたとき、普通ならば互に他の人だらうと思ふ場合でありますが、弟子等は皆我なりやと自分を省みた、この事は實に意味のある事で私共學ばなければなりません。一家の内でも惡い事を人にきせ自分をよき者にしたなら治りはつきませんが互に自分を足らぬ者とし神の前に謙遜つた人となりますれば嫁姑の間柄にも決して波瀾はない筈です。自分を反省して圓滿に治る家庭を實際に見受る事もありますが實に美しく之は皆キリストを手本とするから起るのであります。年をとつても神の御召を受けて教を學んで行く事は何よりの幸であります。

（老人會席上に於ける講話、文責は記者にあり）

○慈愛館のために御同情を求む

豫て救濟課の働として我國婦女子の醜業に陷り、又は陷らんとする者を救濟して正業に就かしめんとの目的にて平均二十名前後の憐むべき同胞を容收し居れる慈愛館は從來内外國人篤志家の寄附によりて維持し來りたるが、今同館長となれるペンロッド女史は特に此の事業に獻身し、維持金及建物增築の資金を廣く海外に募集せんと自ら三等の旅客となりて出發せられたり外人にして我國婦女子のために斯く努力を惜まざる女史の美擧に接し、理事一同は之を默視すべきに非ず當地にても出來得る限り努力すべく決したる次第なれば何卒有志の方々此の救濟の爲に御同情を寄せられん事を切に切に希望仕候。

御寄附は一年間とし每月何程と願上度候

麹町區上二番町三十三番地婦人矯風會本部

慈愛館理事

カルバリ山の十字架

救世軍大佐補　山室軍平

十二日程旅行なして居りましたが、東京を出る前に時間に無駄のない樣に切つめて出たところが、十二日間に三拾貳回の講話をいたし告白した人は百六十人以上ありました。婦人矯風會は何處へ參るつても親類の樣で嬉しく覺え、今回は京都と熊本と二回丈でありましたがなか〳〵皆樣が心得てござるし、熊本では瀧本さんが御居でゝありましたから日曜日の朝早天祈禱會をして御別れをしました。この島は今から三十五六年前、小崎先生や海老名先生がキリストのために旗をおたてになつた場所と申すも不思議であります。瀧本さんは廓清會のためます〳〵盡したいと申されました。熊本では坊主等がよつて救世軍が來たからどうして防禦しやうと相談したさうであります、斯の如き有樣で打ければ響くのではない、たゝかぬ内にひゞくのでありますから弊が多いので、東京市で御苦心をなさるのが地方へ響て居る、東京の動作が一々地方へ感ずるのでありませう。

キリストの十字架は非常に大きな問題で、何處から申し上げてよろしいのでせうか、私は只イエスの教訓に就て申上ます。

胸に十字架をつける人もあり、會堂にも屋根等にも十字架をつけ、十字形に建築される教會もありまして種々の方面に十字架を標榜して居りますが、斯の如く善にもあれ惡にもあれキリスト教には十字架がつきものであります、儀式は兎も角もカルバリ山上に三本の十字架がありました事は御承知の通りであります。

一、死ぬるまで罪を改めなかつた盜人の十字架。

二、悔改めて救を求めた人の十字架。

三、罪は無いが世界の人の爲に代つて死んで下さつたキリストの十字架。之はあらゆる人の十字架であります。この教訓を考へて見ると。

第一　總ての人に十字架あり

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

生れてから死ぬる迄苦勞のない者はない殆んど凡ての人が十字架を持て居ります。どうやら眞面目な人に仲間入をして天國に入り度と、自分丈を考へる人もありますが、自分ばかりでなくどうせ一生苦勞を致すなら、世の爲め人の爲にせなければならないのであります、世の中には罪をつくつて居る人が、その罪のために苦勞しないで却て惡魔に忠義を盡す爲に命を捨る人がたくさんありますが、善い事のためには如何でせう少しの事にも身震をする樣な有樣では何も出來る譯はありません。善い事に時間を捧ぐるのは結構な事であります、自分の罪咎の爲めに一生亡ぶる處を救はれて少しでも人のために盡す事が出來ましたなら眞に結構ではないですか。貴姉方でも少しなりと人の爲に働いて恩にきせる人がありとすれば、それは未だ足りないのであります。無駄な事に時間を使はず矯風會に使と云ふ事は實に結構ではありませんか。リビングストンの言の意味に「商買人が利益のために行く處には、私共は救のために行かねばならぬ、人間の一生涯には何かの苦勞難義がある、その煩悶をして自己中心の苦勞をするよりも、一歩進んで外の人のために苦勞して貰ひたい」と申されたさうであります。

第二　十字架は重い者ではない

馬可傳終の方にキリストがアレキサンデルとルフネの主なるクレネのシモンなる田舍から來た男にイエスの十字架を負はせた事が書いてあります、その男はむりに負はせられましたので、こんな者を負ふのは嫌でたまらなかつたのですが、カルバリ山の上迄漸く持て行きました。その柱にキリストがおかゝりになつた處が、あの柔和な方はどなたかと思ふ内「父よ彼等をゆるし賜へ、そのなす處を知らざればなり」と仰るのを聞て驚きました。私がこの方のかゝる柱をかついだ、嬉しかつたと考へて、家に歸て斯ういふ勿體ないイエスの柱を負ふたと家内中に話して皆信者に致しましたその後パウロが來まして傳道した折自分の家に迎へて子の樣にしてシモンの家内が面倒を見たので、パウロ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

がルフの母は我が母なりと申してあります。こゝで學ぶべき事はイエスの十字架は決して重いものでない、意味を知つて負ふ時は有難い勿體ないものであると云ふ事です「すべて疲れたる者重きを負へる者は我に來れ我汝等を休ません」そのまゝイエスに來れよとあるその苦勞を取り去つて下さる。それで氣樂になるといふわけではありません。我は心柔和にしてへりくだるものなれば我がくびきを負て世の中を善い物にしたいとの荷物をつけて下さるのでありますから、眞に神に來る人ならば罪をとり去られて安心するのではない、世の人に善をなす事をしなければなりません。メリーライオンの言葉に「人間は人の爲に心配しない時は自分の爲に苦勞するのである、例へば廻て居る石臼の樣で環て居る時は粉を拵へて出す、粉を拵へませんなら自分を碎くのである」と、キリストの十字架は意味を知つて負ふ時は輕い者であります、十字架は木で拵へたので金で拵へたのではありません、さらばとて紙で造つたのでもないですから決して氣樂なものではありません、始終責任が伴ふのでありますから、人に功德をなし、感謝して負ふべきであります。

第三　最後まで十字架に止れ

一寸負ふて止めてはならぬ。イエスがカルバリ山で十字架に懸つた。通る人が見て、神の子ならば十字架より下りよ、彼は人を救いて自分を救ふ事の出來ざる者かと申したり、一人の盜人は我と汝を救へと、始終十字架より下りよと呼はりました。只今でも始終人からキリスト敎を止めなさいと私共に迫て來るのであります。折角有望な青年が苦を忍んで傳道して居ると、親友からはもう少し樂にやれるだらうと、折々誘惑が來る。ブース夫人の話の内に、或貴夫人が交際社會に飛廻つて居る時に誰一人もおよしなさいと云ふ者はなかつたが、神の爲人の爲に働き出した時は、そんな事およしなさいとの手紙を何十本も受取たと申してあります。斯く迫られてもキリストが十字架に止り給ひたればこそ救の道は開けたのであります故やり掛つたか

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

らには最後迄續ける覺悟が必要であります。

第四　十字架の後に榮の冠あり

キリストと共に苦勞する事は必ず結果があるので、一家の内、一の社會、一の團體、會合の上にも必ず酬いがあります、苦んで居る人があれば眞面目な人が出て來ます、スヰツルに參りました時通譯をして呉れました方はスヰツルランド大學の植物學の敎授で「ホン」といふ尊敬の字の付く博士の人で奥さんはロシヤの貴族の人でありました、この人と歩くと、皆が尊敬して居りました。この方が救世軍に投じた經歴を聞きましたが「ある日救世軍の集がすんで皆歸る時に出會まして、すると救世軍の人々はひどい目に逢はされて氣の毒な有樣の中でその人々は少しも迫害した人を怨む樣子はなく皆ハレルヤを稱へて居たこの實に眞面目な宗敎に感じ直ちに悔改めて士官になつた」と申しました此の人の爲にスヰツルランドは餘程の幸福を受くるに違ひありません。矯風會の方々一人々々と出來得る丈けの信實を盡してなさるなら實を結ぶ事は疑ありません必ず十字架の後には榮の運があるのであります。

第五　十字架の前にゲツセマネあり

短い世の中に只外へ出た時ばかりやるのでは少くないのであります、密室で祈をする事が何より大事であります、人の爲にするのに苦勞と思はないで「我心の儘をなさんとするに非ず、御心に任せ給へ」と申された通りです、ウヰリアムペン曰く「不合理の己に克のみならず、合理的の己に克たざるべからず」正直に申上ますと私共が無駄に使ふて居るものがある。海の波の寄せてはかへすのがむだであるから、あれを利用したら、どんなによからうと申して居る人もある、同じ十口云ふ世間話の中に一寸一口でも善い事に使ふたらどんなに役に立かしらんと思ふのです無駄な事をする時間に便りない人に力になつて親切を盡す事が大事で即ち自分のしたいと思ふ事をも捧げて盡さねばなりません。ゲツセマネの園の樣に、人の前に力の無いのは神の前に力が無いのであります、まづ神の前に祈てやれば人は必ず動くものであります。

右は麹町婦人矯風會の席上に於ける談話にて文責は記者にあります

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

講演

神のみ恵は無條件にて受く可し

早稻田教會牧師　三井芳太郎

地上の物は大抵のものが條件つきでなければ得られぬ。空氣か水位が無代價で得られるが、都會などでは水とても水道の水は無代價ではない。旅行するにも汽車汽船に乘れば切符を購はねばならぬ。お芝居を觀るにも入場劵を要する。敎育を受ける爲めに入學すれば無論授業料が第一に必要である。總てが條件つきである。歐米では博物館なり展覽會なりは大抵自由に入場が出來る。我が帝國大學では學生以外の者は博士敎授の講義は聽く事が出來ぬが、パリや獨乙の大學などでは誰かれの區別なく又婦女子と雖も無條件で聽きたい講義が聽けると云ふことだ。實に我々日本人には羨ましい次第である。

地上で受くる吾人の特權は殆んど總てが條件付きであるが、こんな社會に生存し競爭して居る我々は神の恵が全然無條件で受く可きものであると云ふても了解に苦むのは無理もないことだ。だから世間には種々の神樣に祈願をこめて供物を献げたり、賽錢を納めてそれで神の御利益を受くることを考て居る人々がある。又大願成就の曉には鳥居であるとか幟とかをお禮として神樣に献上すると云ふて祈願をなすものもある。神の恵も條件つきでなければ受けられぬと考て居るのである。

如上は幼稚な頭腦の考であるが高等の敎育をうけた人でも神の恵を無條件で吾人が受く可きであることが徹底して了解して居ない。夫天父は其日を善き者にも惡者にも照し雨を義しきにも義しからざる者にも降せ給ふのである。たゞ求めよ然ば與へられ尋ねよ然ばあひ。門を叩けよ然ば開かるゝことを得んである。たゞ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

うち碎けたる心にて即ち虚心よく神の惠を受くることを求むれば足る。爾曹のうち誰か其子パンを求んに石を予んや、また魚を求んに蛇を予んや、然は爾曹惡き者ながら善賜を其子に與ふるを知る。まして天に在す爾曹の父は求むる者に善物を予へざらんやとは基督の聖旨である。聖旨は極めて簡單にして變ることなき不朽の眞理である。

人々各々の胸中にぞ誰も温かき平安の心を求め平等變りなき天父の慈愛を慕ふ心は存して居る。鹿の溪水をしたひ喘ぐが如くにわが靈魂も天の父をぞしたひあへぐの心は右の詩人に等しく微ながらにも萬人の心に潜んで居る。其微かながらも慈光を求むるくしき心を神に求め求めてやまぬならばやがてはみ惠の己が身にゆたかなるを感ずるに至るであらう。求めよ、み惠は無條件にて求めよ、この充ち足れるみ惠は罪人も善人も、智者も愚者も、賢者も無智なる者も、才あるもなきも、富めるも貧しきも、老いたるも若きも皆等しく神の子として之を受くる特權を有するものである。

此平等なるみ惠のものと吾人は人類同胞たることが出來るのである。神の愛がかくもゆたかなればこそ隣人を愛し敵をも愛するを得るのである。基督教の奥義愛神愛人につく。爾心を盡し精神を盡し意を盡して主なる爾の神を愛すべしこれ第一にして大なる誡なり。第二も亦これと同じ己の如く爾の隣を愛すべし、凡そ律法と預言者は此二つの誡に因れり。この愛神愛人の道、心ばえが了解できれば立派な基督者である。我等の先輩が率先して日本に傳道する時分にはどうしても愛神と云ふことが人々に徹底しない。だから敬神愛人と唱へたと云ふことだ。神を敬するなら少しは了解が出來るが神を愛するとなると分らぬと云ふ。我々日本人の頭腦には現今でも神を愛すると云ふことが徹底しない。神の愛なることが解されぬから從つ神を愛することも不可解のことゝなるのである。約翰第一書は殊に熟讀すべき書である。就中第四章第七節以下二十一節迄は殊に姉妹等が熟讀玩味してもらひたい。愛する者よ我儕互に相愛すべし愛は神より出ればなり、おほ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

よそ愛ある者は神に由て生れ且神を識るなり、………神はその生給へる獨子を世に遣はし我儕をして彼に由て生を得しむ是に於て神の愛われらに顯れたり、……未だ神を見し者なし我儕もし互に相愛せば神われらの衷に居て彼を愛する愛を我儕の衷に完全す……神は卽ち愛なり。

私は先日組合教會擴張傳道のため上州に參りましたが高崎教會では五日間連夜說教がありまして先輩教友等が最も熱心に縱横に教旨を宣傳せられ其五日間の最終の夜に私が最後に教壇に立つことになりました。私は百幾十人の聽衆に臨み話を終了したときに彼等に一のアッピールをしたのであつた。其會衆の三分の二以上は未信者であつたが私は彼等に向て諸君は基督教の如何なるものであるかは連夜の說教で大體を了解せられし事と信ずるが一つ諸君に考てもらひたいことは基督教の教の生命である。學問や智識ではない。種子は日光の温味なくば發育せぬと同様諸君が胸に落へられし教の種子は神の温味なくては發育が出來ぬのであります。私は只今諸君のために其神のみ光が諸君の人格の中に入りてみ靈が諸君をうるほすことの出來るやう諸君のために、たゞ今其み靈御聖靈の降らんことを、焰の神のみたまが、これを祈りたいと存じます諸君にはよもやご不同意はあるまい。此神のみ惠は無條件で受く可きである。善き者にも惡き者にも日の光を照したまふ神のみ心は極めて公平であります。諸君兄姉一同のために祈りたい。されど此無條件にして受く可きみ惠も求むるものでなくば受けることは出來ぬ。心を開き心を碎かなければ神の光ははいらぬのであります諸君心より神の惠に充たされて重荷をおろして此場を散じたいと思はるゝ方は其求むる精神を表はすために起立を願ひますと訴へたところ、百五六十の會衆は悉く起立されたのであります。私は高崎は一夜丈其最後の夜に話をしたのでありますが、富岡には主任者として高崎に參つた夜の外は此地で働きました。富岡では又其最後の夜に同一の訴をなしたが、三百の聽衆は總起立して厳粛に首を垂れて心を碎て天地の生ける神に

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

み力を仰いだのであります。擴張傳道では決心者を促して起立せしめ又紙片を配りて記名さすことを毎度試みますがこれも一方ですが、決心し兼ねた又は記名する勇氣のない人々は何だか氣まづき感を抱きて歸る人も見受けるのであります。けれど記名するとか教會に加入するとかは別問題である。これはむしろ諸君自が進んで爲す可き當然の事であつて今晩はたゞ無條件で起立して無條件で神のみ惠に浴して歸らうではないかかく申して人々に求むるの心を促したときには一同が總起立をしました。誰しも神のみめぐみに浴したいは一同の希望であつた事を確めました。又私の如き者からでも祈つてもらうと神とお近きになりたいとの柔和な謙遜な心を一同が持ちうるものである事を實驗致しました。私は其外此度の上州傳道で一家族に五六十人の集會があつて其村は三人のみ信者であると云ふ村の集でしたから此五六十人の人々は宗教には極めて門外漢の人々が多かつたのですが、始めから耶蘇教にお加りなさいと云ふことを浴びせかくる代りに一同は無條件で心を開いてみ神のみ惠に浴しなさいと訴へたのであります。こゝでも一同が起立して私の祈と共に神に心を向けられたのであります。私は約束しまして同じ筆法で各所の集會でアッピールを試みましたが一同は喜んで私のアッピールに應じました。神のみ惠は無條件で受く可きものであると同時に私の近來の傳道上の實驗を附加して諸姉の御參考に供します。

(某婦人會集會に於ける同牧師の講話筆記)

會告

○婦人新報代金領收

一金貳圓(前納) 湯淺初子
一金七拾錢(本年度) アツキスリンケ夫人
一金九圓(十月分) 大阪支部
一金拾六圓七十錢(十二月迄) 横濱支部
一金七拾錢(大正二年十一月迄) 廣井つな子
一同(本年度) 廣澤夫人
一金六拾錢 小室みゑ子
一金貳圓拾錢(大正三年迄) 谷口ちゑ子
一金七拾錢(大正二年分) 北星女學校
一同(本年度) 中島小春子
一金七拾錢(大正二年十月迄) 桑田はな子

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

信仰の餘惠（承前）

藤田寛太郎

慈愛の涙

本年一月二日は實に亡き愛兒が永眠後滿三年の記念日に當るを以つて彼が爲に記念會を開き、一は同情ある諸兄姉と會して厚き感謝の意を表し、一は之を機として余が畢生の大業を發表せんつもりなりき。而して余は其迄に何等か最も適當にして且つ有益なる記念品を作る事を思ひたちいろ〳〵と心を惱ましたるが、同哀の人々相會し、相語り、慰め慰められ相共に泣きて後その涙の内より慰安を得る事最も嬉しきものなれば願はくば世間多數の同哀者の同情を得、愛兒を喪はれし當時の哀心の感想より成りし詩歌文章を輯め、之を一冊にして同哀者に頒たば一方に於て愛兒永眠の記念品となり、他方に於ては世の同哀者の慰藉物ともなりかた〳〵絶好の思ひつきなるべしとて、村田兄にも謀りて愈々其事を決行せんと定めたり。而して余が親友に圖書出版の業に從事せる同情者一二なり、之に謀らば快くその出版をも引受けられん事固よりなりしも、余は又深く考へることあり、余一人その出版の全責任を負ひ、特にその編輯の大任に當るべき村田兄及びわざ〳〵玉稿佳什を寄せられし同情者の希望を空しくせざらんその書の凡ての點に於て盡し得らるゝだけを盡さん覺悟にて、四十三年四月其事を初め十二月はおそくともクリスマス迄に完成せしめんと勉めしが、編輯者の甚大なる苦心奔走を以てしても漸く歲末二十九日に納本を了したる程なりき。尤も當初單に之を知友間に頒たん考なりしが此種の書を一部にても汎く頒布し一人にても多く慰安を與ふる事神慮に適ふものなりと

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

切に人に勸められ、余も亦自ら感じたるを以つて之を公刊發賣する事となしたり。即ち「慈愛の涙」の一卷なり。その費用の如きも豫算と實際とに驚くべき差を生じたれど、余は全く此擧の直に神の聖慮に叶ふべきを確信し心中大に安んずるところありき。斯くてこの書幸に世に出で多くの同哀者の慰めとなりし事は余の深く感謝する所なり。かく豫期に幾倍する費用を投じ、又余には甚だ過分なる記念品を作り出したる事を思へば寔に身の程知らぬものゝ如くなれども、之を受けられし世上幾多の父たり母たる人々より送られし書翰等によりて余は此事の望外の善事なりし事を知り、その人々の心に多大の慰藉と奬勵とを與へ、皆云はれし愛兒に再會せられし如き滿足を以てこの書を迎へられしを思ふ時、此擧も決して過分にも非ず贅澤にも非ざりしを知れり。又此事によりて余が信仰の一路に於て大に得る所ありしを思ひて茲に此出版に對し多大の助力を與へ、顯はれざる援助者の深き同情を鳴謝し、且つ攝理の至妙を感謝せんとするものなり。爾來諸事心に任せず、兒童圖書館の擧を發表するの日は未だ與へられざれども、此書の完成によりて兎に角一段落を告げたれば此後はその基礎たるべき聖書の備へらるゝと共に、愈々圖書館成立の事に一歩を進むべき時期の來るを信ず。

▲神の結ぶ愛の友

余は毎年一月元旦、特に心を靜め思を凝して聖書を開きその不用意の開卷によりて示されたる章節句を以てその一年間の指導とし特に精讀研究するの習慣あり愛兒は新年第二日朝を以て永眠したりしが、其前日例によりて余は多忙繁激心身共に看護に疲れしにも關せず新たなる心を以て聖書を開きしが、偶然にもそこは約翰傳第十一章のラザロが甦りの物語にして其中に

　こは死ぬる病に非ず神の榮の榮也神の子をして之に因て榮を得しめんが爲也(第五節)

とあるを見て余は大に安んじぬ。而して思ひぬ余等は愛兒は死なざるべし、彼が今かく月餘も病床の上に有

りて苦痛の日を送るも深き神の聖慮ならんと。兒はこへて二日午前八時五分遂に永き眠につきたる也。かくて余は幾度か迷ひしが心を潜めて之を思ふに、余が愛兒は決して死にしものに非ず何時迄も生くべきなり。彼が神の榮光の爲めに働く大使命を帶びたるを知らせんとて、神は特にこの一節を選びて余に示したまひしものならん。余はまさに愛兒が大使命を見出してその爲めにこの身、この心を捧げんものと堅く決心覺悟するところありき。但しこの決心この覺悟も今余が今日あるを得しを思へば天父の御慈悲、御愛護の常に余等の上に豐裕なりしによらずんば非ず。而して余は更に愛兒が肉に死して後此事業のため靈に復活し來つて父母を激まし慰めし事と、余が愛友なる人の深き恩義と厚き同情とに負ふところ極めて大なるを感せざるを得ざる也。實に愛友は世に謂ふ椽の下の力持ちにして人の爲めに盡し艱苦を分ち活動を援け、自らは毫も顯はれずして人の光を輝かさんことを願ひ日夜その成功を祈願する神々しき心事を持する人にして、余はこの如き人ある故に此世の波濤も暗礁もあへて苦しともせずして勇往邁進することを得たりし也。既往も現在もはた將來も余を援け余を救ひ余を慰め余を勵まさるべし意氣投合して眞に一心同體の思あり、世上何物かこれにまさりて貴き神の賜物あるべき也。世には實にかくの如き愛友あるが故に花咲き匂ふ樂園の思ひある也。

讃美歌第一篇第三百廿一に

花散りうせては鞭にうられ、家貧しければ人に棄てらる。誰をか頼みて何にかたよらん、唯神の結ぶ愛の友あり。生命は葉末の露にも似たり、父去り姉逝き亦眠る、誰をか頼みて何にかたよらん、たゞ神の結ぶ愛の友あり。たゞ神の結ぶ愛の友あり、かたみに勵まし勵まされ、、儚なき憂世を渡る月日〱、春野をわけゆく心地こそすれ。

而して此事業に當る余等の決心は既に之を明かにしたるが、本年一月廿日愛兒のために墓標を建築するに際し余等夫妻の名をもその表に刻せしめて此事業の爲に藤田家全家を捧ぐるの志を明かにし、且つ墓石の轉々を甚だ心元なく思ひ一幹の銀杏樹を植ゑて記念とせり此聖木銀杏の榮えに榮えて一方この記念の圖書館と共

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に永く神の榮を表はすの一端にもなれよとて祈るところ切なり。

死したるに非ず

あゝ余が愛兒は死したるに非ずして生きたる也。更らに生々たる元氣を以て復活し來れるなり。その肉や骨は既に青山の墓下に朽つれども、その靈は余を導き余を勵まして此大なる事業のために盡すところ有らしむるを感謝せざるべからず。彼愛兒一度肉に死したれどもこれによりて彼が意する世上幾萬の兒童を益するを得るは卽ち彼が復活して此世に働くに至りし故なり余等夫妻が敢て犬馬の勞をとるを得るは實に余等が地上に於ける最大の幸福にして又恩惠なり。

神は此事業に對し今後如何なる聖慮を示し給ふやは知らざれども、余等はこの兒童に捧ぐべき圖書館のためには全身全靈を犧牲とするを欣ぶのみならず、如何なる困難も苦痛もみな耐へ忍びて屈せずたゆまざる也あゝわが愛兒の死はかくて遂に無益に終らざるべし。

余が愛兒の永眠當時より今日に至る迄、常に愛誦して修養鍛錬の一助となすところは希伯來書第十二章に

凡ての懲治今は悦ばしからず反つて悲しと意はる、然れど後之によりて鍛錬する者にて義の平康なる果を結ばせり

の一句なり。あゝ愛兒の死及びその爲めに受けし余等が十字架の苦痛は、やがて神より義の平康なる果として余等の大事業に成功を賜はるべきを信じて疑はず。一粒の麥もし地に落ちて死なずば唯一つにてあらんもし死なば多くの實を結ぶべしと信なるかな。「約翰傳第十二章第廿四節）

愛兒の肉の死によりて此復活あるを得しめ給ひし天父の深き〳〵御聖慮の一端を仰ぎ奉りて彼が死の如何に光榮なるかを思ふ時、余等夫妻は只々感謝の熱涙に咽ぶの外あらず。余はこゝに亡き愛兒の記念として創めらるべき兒童圖書館にその基礎として備ふべきこの聖書を裝釘するに當りて縷々數百言を費せり。これ實に此事によりて眞に神の御榮えの顯はれんことを冀へばなり豈他あらんや。（終）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

廢娼問題と婦人

成女高等女學校長　宮田修

（一）

今更女子の貞操を賣買する行爲を許容すべきであるか否かを論ずる必要はない。國家が之を營業として認めて置く事の是非善惡を論難しなければならぬ程、私は日本人が野蠻であらうとは信じたくないのでありますが、議論は兎もあれ、要するに公娼の存在は眼前の事實であります。

さればこれに對する反對運動には、苟も人道を解する程の者は何人も蹶ひ起たなければならぬ筈でありますのに、兎角引込み思案の日本婦人は、自分の同性が淺ましい所業をなし、堪ゆべからざる凌辱を蒙りつゝある境遇を見ても、唯通り一片の哀憐の情を催すに止まり、怎うにかしてやらうといふやうな、一歩突込んだ深い同情心の衝動する者は、遺憾ながら寥々として晨星も啻ならざるのが現下の狀態であります。

此問題の如きは決して男にのみの問題ではない、女子も共に協力して之が解決に努めなければならないのであります。

そこで私は此廢娼運動をなすに就て男女の性によつて分擔の任務を定めて見たいと思ふ。私は此運動を第一營業者（貸座敷業者）に對する抑壓運動、第二醜業婦に對する救濟、第三墮落青年の防止運動の三つに分つて考へて見たい。先づ第一の運動は男が受持つか女がやるかといふ事、問題の對象即ち運動の當面の敵が男であるか女であるかといふ事を知つてからでなければ定められない。で大抵此種の營業をする者は表面は女名前のやうであるが其裏面には必ず有力な男子が伏在してゐるのは殆んどお定りである。私は斯ういふ方面

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の消息を餘り知らないから或は世間見ずの譏を免かれないかも知れぬけれども、斯うした罪深い恐しい所業をしてゐる大膽さ加減は、到底今日の處男子でなくては覺束ない事であるやうに思ふ。果して私の考が正當であるとすれば、此營業者をやめさせるといふ抑壓運動に就ては、男子の名譽として宜敷男子が其衝に當らなければならぬと思ふのであります。若し温和な手段を盡しでも之を改悛せしめる事の出來ない時には、此頃やつた早稻田の學生に倣つて示威運動を試むるのも結構である、根本から破壞に出掛けるのもよからう、少しは野蠻かも知れないが、亂世の時は血を以て平和を買ふのである。之を應する方法が野蠻であるよりもその存在の方が遙に野蠻である事を思ふたならば、場合によつては血を見るとも最後迄吶喊の鋒先を緩めない覺悟を望むのであつて、之は何處迄も男子の分擔として責任を有ちたいと思ふ。

第二の對象は無智な、纖弱い婦人である。命よりも尊むべき操を賣買する事を、自分の身體を自分の自由にするに過ぎないとしか考へてゐない善惡邪正の差別すら滿足に分らない氣の毒な婦人である。斯ういふ婦人に其所業の卑しむべく憎むべきであることをよく了解せしめ、其境遇から正業に導き、或はさういふ境遇に陷らぬやうに防止する運動は、之は男子が取扱ふよりも婦人が同じ性の親しみを以て取扱ふ方が確に適してゐる此方面は專ら婦人に御依賴したいと思ひます。

（三）

第三は遊びに行く人の袖を引張つて、まあお止しなさいといふて止める役目であります。遊びに行くといふ事に就ては、近頃婦人が往つたなど丶新聞に見えてゐましたが、先づ多くの場合男である。して見れば之を止める役目も男子といふ譯になるのであるが、併し之は男子のみでいけない場合がある。世間には妻子を有つて居ながら隨分さういふ處に行く人がある。細君があつて而して何の必要があつてさういふ巷に足踏みするのであるか、家庭に於て樂しく團欒をしてゐるのに、尚其上に樂みを求むる必要はないかの如く吾々は

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

考へるのである。乍併ものは變化がなければならぬといふかも知れぬ。或は實際其麼事であるかも知れない家庭といつても必ずしも樂しい家庭ばかりあるものでないかも知れぬ。曾て古へ希臘の亞典に於ては、亞典市民は亞典婦人以外に妻を持つ事が出來ないといふ法律があつた。ところが此亞典には中々偉い人があつたプラトーンといふやうな大哲學者もあり、ペリクルスのやうな大政治家もあつた。其他大といふ字のつく人達が少くない。斯ういふ人々はどうも自分の家ばかりでは滿足が出來なかつた。當時外國から這入つて來た所のヘキラ、英語でコーチスといふやうなものを相手にして宴席に酒を酌み、或は相携へて散歩するといふ有樣であつた。之は怎ういふ譯であつたか、やはり變化を好む人民であつたかといふと、外に原因があつたからである。即ち其奥樣たる亞典婦人は夫の伴侶たるには餘りに幼稚であつた。それは洗濯もしてくれる。飯も炊いてくれる、けれども大なる思想を以て、大なる感情を以て共に喜び共に哀しむといふ、大なる慰藉を與ふる力がなかつた。假へば茲に繪がある、大變立派な繪ではありませんかと話しかけられた時唯ハアーといつたきりでは少しも興味が乘らない。何しろ一方が大といふ字のつく人であるからアテネ婦人では滿足が出來なくて、藝妓に等しきヘキラを相手にする樣になつたのである。日本人にプラトーンの如き大哲學者ペリクルスの樣な偉い政治家があるかどうかは知らぬ。けれども今の日本婦人にアテネ婦人の樣な缺陷がありはしまいか、家庭を有つて子供が三人も四人もあり乍ら變化を樂しむ――斯ういふものがあるとしたならば――何か缺如するものがあるのではなからうか。大に反省して見る必要があるやうに思ふ。

（三）

第三の運動に就て婦人の協力を望むのは特に此點に於てゝある。私は廢娼問題を解決するには、どうしても日本の一般の婦人がもつと教育されて、男子と同格のものとならなければならないと思ふのであります。此問題になると多くの男子が動もすると邪魔を入れて

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

困る。餘り女が立派になつてしまふと少し自分の方が都合が惡くなると考へるのでありませう、けれども全體として昔に比べて今の婦人が進歩した事は歎く可きものである。昔ならば細君が夫に離縁を申出るやうな事はなかつた。私は細君が此離縁を迫るやうな時代になつた事を喜ぶものである。と云つて無暗に持出されては困るがそれ位の氣力が出來て來た事は喜ぶべき現象であると思ふ。『今日も歸つて來ない。どうしたのだらう』とメソ〳〵泣いて居る奥樣は實に貞淑であるかも知れぬ。けれども一歩進んで胸倉とつて小突ぎ廻すのも困るが、堂々と其非を論じ、どうしても反省しない時には離縁をするといふ氣力はあつて欲しいと思ふ。廢娼問題の如きは、どうしても婦人の覺醒を見ない間は根本の解決は覺束ない。勿論今日に於ても中々立派な婦人がある。哲學的解釋などは男子に限るやうに考へられてゐたが、日本の婦人社會にも近頃は雜誌に或哲學論を出した人もあつた。又婦人が文學をやるにも最も困難なドラマに筆をつけるやうになつた。或は社會運動、慈善事業等にも大分婦人が關係するやうになつた。これは實に最近に於ける著しき婦人の進歩である。併し未だに我々が此廢娼問題を舁ぎ歩いて諸所で演説をしなければならぬといふやうな社會であるとすれば、まだ〳〵婦人の勢力が微々たるものである事を證據立てゝゐる譯である。然に近頃大分目覺しいといふ所謂新しい女といふのがある。而も男が女の恥辱の爲に——無論女ばかりではない人間の恥辱であるが——運動して公娼制度を破壞しなければならぬと奔走してゐる一方で、此新しい婦人自身が女郎を買つたといふ樣な記事が新聞に表はれるといふ事は何たる矛盾であらう。之は餘り新し過ぎて通り越して了つたのではなからうか、斯んな飛んだ自覺をしないで、社會人道の上に眞摯に覺醒して、此間の早稻田の學生のやうに日本婦人が大同團結して先づ此恐るべき憎むべき制度と戰ひ、健全なる國家に健全なる國民を産む人の母たるに至らん事を切望して止まないのであります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

すきこしかた

矢島楫

○竹崎家に寄寓す

舊暦三四月の頃竹崎家に參りました、子供を連れて他家に寄寓するには子供の泣聲を人に聞かせない樣にと心を配りまして、朝から晩まで子供を少しも離さず自分獨りのつもりになつて働きました故、家の方は皆「この子は少しも泣かない」と申しました。その家の人々は皆外に出ますから私は留守をして、穀物を庭に干し夕方はそれを仕舞ひ、食事の世話など致して手傳ました故か、子供は第一に洗濯をする事と掃除する事を覺えました。

○東京に來りし動機

以前より難義をいたした眼病がなか〳〵直りませんので、治療のため熊本の姉の家にて二ヶ年間子供を連れて居りましたが、他へ預くる事にして治療を續けて居りまする內、兄が東京の猿樂町に居つて病氣ださうであると云ふ便を聞き、それでは看護のために私が上京致しませうと相談がきまりますと、他の方は女一人ではあぶないと親切に仰つて下さいましたが、おことわりをして、金子貳拾五圓を所持しまして長崎から飛脚船に乘て東京に着いたしました。その當時は東京中に人力車が九臺ぎりありませんでした。時は明治五年の春の事です。

○咄嗟の改名

この旅行中自分の考へますのに「かつ」と云ふ名はいやでたまりませんが、昔の事をくりかへせば、私が生れてから誰も名をつけて呉れる人もありませんでしたのに竹崎の姉が名をつけてくれたのですから是非一字は殘して置たいと思ふてをりますと、向を見れば澤さ

んの船が往來して居る、ふと考へた事は船について尤も肝要なものは楫であると、それから後は楫といたしました。

神戸に上陸した時始めて西洋人を見まして異樣な感をいたしました。この年は細川侯も知事公も御上京の時でしたから圖かず私も其御仲間に入れて頂きました女は私一人でした。東京へ着ての困難は、今では何でもありませんが、その頃は警察はなし、人に尋ねてもなか〳〵裏猿樂町が別りません、ほと〳〵閉口致しました。

○駿河臺のがけを控へた旗本屋敷

漸く尋ついた處が平家建に火の見の附いた百疊敷の家、長屋門にて厩一ケ所、井戸三ケ所、稻荷二ケ所地坪六百坪である駿河臺の崖を抱へて居りました、之は勿論旗本屋敷で無代價で拜借して居つたのです。私の着いた時、兄は少々快氣で役所へ參つた留守、藤島の息子（海軍兵學を學んで初航海の時沈沒して死にました）が出で談をしましたけれども言葉がよく別りませんでした。

知つた方は德富さんの弟の江口高廉と云ふ御夫婦が駿河臺に居られて折々談を致しました。もう一つ困つた事はお金の勘定が銀何匁と稱へ一兩とか二分、二朱と云ふ工合で閉口しました。兄が家に居れば朝から晩まで客が續きそのあしらひにかゝつてをりましたが、さしむきの仕事は、この亂れて碌な道具もない家政を整理する事でありました。まづ家族引まとめ料と云ふ名義にて金を下げて貰ひ、破れた疊をつくろひお客のためにも用意をする樣にいたしたのです。

○總てに新たなる觀察をなす

この大伽藍の樣な家の廻りは草木も茂つて居りまして時鳥や鶯が更り〳〵來て鳴きますから、

「かれや聞き之をや聞かん時鳥
世を鶯ととり〳〵の音を」と詠み、また兄を見送りに玄關まで多人數出ましてふと向ふを見ますと、立

派な富士が見えた、國の方では富士を見る事は非常に光榮に思つて居りましたから

「見せはやなふる里人にさみだれの
　晴れ間ににほふふじの高根を」と口づさむだ事もあります。家の整理をつけながら考へますと、之から新らしき生涯に入るにはやはり總て新らしい觀察をするのが必要だと思ひ、國に戻りても致方がない、更に進歩して一身の獨立を圖らなければならないと感じ少しづゝ新らしい本でも讀む心を養ひ、それと同時に身體も勞れて居るのを直す事に致しました。兄のかゝつて居つた隈川宗悦(今は故人となられた)先生と懇意になりいろ〳〵衛生上の話を伺ひました。

○眉毛をたて鐵漿を落す

隈川先生の御話に「日本人は身體の構造を知らないで只習慣に制せられて結婚すれば鐵漿をつけ、分娩すれば眉毛を剃るといふ次第で理窟には一切構はない、あなた(私をさして)の眼病には治療すでに後れて手術をすべき時期でないから自然に保護をするより外はない、よつて眉をたてたなら汗も入らず、又鐵漿等の不必要なものは止めた方がよい、のみならず舊來の習慣を破つて衛生的婦人となられよ」と伺ひましてから成程さうであると感じ、眉毛、歯を自然に戻したのですずい分人から笑を受けましたが、之は斷行すべき事だと思ひ決行しました、斯樣に眉毛をたて、鐵漿を止めた婦人は其當時は私一人で横濱に二人あつたとか聞ました(以下次號)

明治天皇　御製かるたの發行を祝す

矢島楫

毎年一月の遊の一として小倉百人一首はきまり者として出されない事はございませんでした、私はいつももう遠い昔から之ばかり改良されずに居るが、何か之に比敵するものをと考へて居りました折も折この諒闇に際し　先帝陛下の御盛德を追慕し奉らせたい心の山々なる時山下郡三郎君の御考案になれる御製かるたの發行を承り、殊に之は適當なる良き御考と存じ、早速寄宿舍へ一組求めこの際百人一首は見合せに致した喜んで御發行を祝します。

米國よりの書翰

オベリンより

道雄

今日は十月廿日(日曜日)である。日本を出發したのは夏の初めの六月廿日、早や四ヶ月前となつた。此四ヶ月程僕に取つて種々の經驗と教示を與へたことは未だ嘗てない、恐くはもうこんな事はないであらう。生來初めての海外旅行、加ふるに人一人前の勞働、三千哩の大陸鐵道旅行にアメリカの學校生活、想起すれば其變化の餘り大きいのに自分ながら驚く位である。オベリンに落付いてから丁度一ヶ月、凡ての事不思議な程好都合にて樂しい日を送ることが出來るのを深く感謝してゐる。

九月二十六日出の父上の御はがき三日前に落手しました。海老名一雄君無事御着京の由大慶々々、我家一同益々元氣とは何より御喜びです。

さて其後僕の生活は萬事萬端都合よく、毎日朝、晝、夕の食事の時一時間づゝスペンス牧師の家に働いて温い家庭の中でいゝ食事をいたし、其他の時間には全力を擧げて學課に集中して居ります。スペンス氏は以前長男(十八歳)を失ふて今は二令孃(十七歳位と十三歳位)のみ、靜かな實に善き牧師の家が如何に僕によき感化を與へつゝあるか、働く事も愉快を増すばかり。昨夜は例の寫眞タイムスを持つて行つて見せた、随分不思議に思つて居られる樣だから少し說明をした。僕の室から氏の宅迄丁度十分かゝる、校庭の中を過ぎて二つの通りを經れば其所に氏の家が見へる。朝靜かに太陽が木の間を照し赤や黄の草が風もないのにふらふら散り地上は枯葉で一ぱいになつてゐる。其間を一人歩き行く時、又清い月の夜自分の室に歸る時、實に何とも云へぬ秋の思が胸に湧く。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

僕が室を借りてゐる家の事を少し知らせやう。此家の主人は五十位、良人は四五年に此世を去つて今は一人呑氣に餘生を樂んで居る、子供と云つても娘が一人あるばかり、それも五六哩離れてゐるのでめつたに會はないとか。僕の外に室を借りてる人が四組ある。第一は獸醫の家族で夫婦に少女、第二は婦人の洋服師、第三は三十以上の男、此人は子供もあるが田舍に置いて今はオベリンの高等學校の生徒だ、大きな身體で土曜日にはうんと働いて金をもうけて得意で見せる、アメリカの人は年を取つても子供の樣だ。第四は六十四だと毎日々々繰り返して云ふ話し好きの婆さんだ、此人は日本にもよくある樣な何時でも話をしたい、何時迄たつても止めないと云ふ面白い人でうつかり話をし出すと終りがない、いゝ加減に切り上げないと夜が明けても止めないと云ふ呑氣な人だ。此家はオベリンには珍しい粗末な家で僕もアメリカ迄來てランプ掃除をしようとは思はなかつた、けれども其御蔭でベツドから机、椅子(三つ)其他一式付いて一週間六十仙、こんなのは外に中々ないとのことだ、冬になるとストーブを置くが石炭は當方持ちだから僕はストーブなしで通すつもりだ。直ぐ近くに學校の立派なカーネギーの圖書館がある、寒くなつたら此所で讀書しよう、今でも時々行くがそれは〱華美な建物で其設備のいゝことゝ云つたらとても日比谷などのは足許にも及ばない、それで本は無料で見られるからこんなうまい所はない。

去る十五日學生の間に成立してゐる一つの團隊に加入した。其團員と云ふのは生涯外國傳道に從事する決心の人々で、僕等外國人は自國のために傳道する決心ならそれで入團が出來るのだ。僕は幹事の人から入會をすゝめられて初めて此團隊のある事を知り早速入つた、此團隊は全米國と連絡があつて本部はニユーヨークにあるさうだ。オベリン大學は米國でも第一に多數の團員を有する由で目下四十人位(男女半々位)ある。何所の大學でも此團隊はあるが此所位多く且つ熱心なのはないと云ふ話、眞實なことであらう。僕も入會の挨拶をせよとの事で生來初めて四十人位の米人の前で

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

下手な英語でしやべつた、「何故傳道に從事するか」に就て、これは皆が聞きたい所だつたさうで、日本語でもむつかしいのに英語だから隨分無茶苦茶の樣だつたが分つた樣な顏をして居たから先づ安心。兎に角靑年の男女が四十人も外國のために傳道しやうと云ふ、（外國と云つても東洋が主だ）そうして一週一度づゝ日本のため、支那のため、又其他に働いて居るオベリン出身の傳道者のため祈をしすゝめをする。實に其偉大には日本人少々恐れ入らざるを得ない。その樣な集りには日本の地圖が壁にかゝつてゐて此所に誰が傳道して居る、此所には誰と一人が說明してから祈るのだ。

オベリン大學は米國でも第一に黑人の入學を許したので有名だ。今のキング校長はそれ〴〵熱心な世界同胞主義者で黑人は勿論外國人のため頗る骨を折る、先生が世界を廻つて歸つた時など生徒が驚く程熱心に人種の區別などしてはいかんと說いたとのことだ。それが先きの團員の多い一理由かも知れぬ。兎に角えらいものだ。時によると米人は黑人を馬鹿にしやすい、否事實馬鹿にしてゐる者が澤山ある。キング校長は非常に此事を殘念に思つてゐられるが、黑人を馬鹿にする人なら日本人も支那人もやはり輕蔑するのはあたり前のことだ。日本人はたしかに未だ人種と云ふことを餘り深く考へる餘地がない。自國の事に日も之れ足らないのだから仕方もないが、世界の事など日本人の頭にはない。僕等此地の少數の日本人で大體日本人の氣持が分る。支那人を見れば何んだちやん〳〵坊主だと云ふし、黑人を見ればくろんぼと笑ふし、米人を見れば何此毛唐がと思ふ。其の人御自分は何のえらい所もない。ほんたうに日本人位自惚の强い國民はない。よく云へば自信が强いとも云へるが、現今世界が互に近付いて來て日本人孤立の場合でないのに未だこんな狹い小さい考では誠に心細い。時々日本人同志でこんな話をして大いに度量の大きい所を互に示し世界的にならうと努力して居る、其所等を考へても如何に此地の米人の偉大であるかゞよく分る。アメリカで勉强する以上其長所を學ぶのも一つの大なる學問だ。

オベリンに來て早や一ケ月になるから大分凡てが home になつて來て勉强するのも大變面白く興味が湧いて來た。來年の今頃はと時々想像するが其時分は眞に馴れてしまふだらう。

文苑

諒闇の年の暮

女子學院　清水きよ

嗚呼かくて今年も暮れぬべきか。

病葉頻に落ちて山は痩せぬ。西郊に出づれば小草また枯れて晩鐘寒し。

かけまくもかしこきわが秋津洲の大御親はよみの國に八尋の殿作りせさせ給ひて、塵の浮世を神去り給ひぬさらぬだに露けき秋を天が下なる青人草はいや濡れに濡れ添ふて袖の雫のところせし。

あはれこの哀むべき民草は今年の菊の御宴催ほさすべき折にあはじ、君が御齢長かれとこそ祈りまつるに藤衣きるけふをむかふとだに知るよしもあらざりき。實に靜心なきは現し世の常、思ひ設けぬは浮世をめぐる小車にこそ。悲しきかな。

あゝかくて今年もくれぬべきか。

さりとも人は心心にて道もせの枯芝、籬下の枯菊亦幽趣なからでやは。言あり泣いて食せざるものは未だ誠に天を知らざるものなりと。呼ぶべきかな。

思へば君ます常世の國を塵をだにとゞめぬ淨樂界奇しきものゝ音響き渡りて百千代經べき君が御齢稱ふらむ。黑み渡れる天が下も乾坤一擲、青陽の春ともならば玉椿亦花もや咲かん。

霜月半ば一夜目さめて蕭々の聲を聞く。戶を押せば時雨なりけり。ぬば玉の暗を縫ひつゝ遙かなる松原越えて歩きくるごとき雨の脚、近しと聞けば遠く遠しと聞けば近し。心ゆく夜の樣に端坐する暫時、功なくもをぞき吾が來し方ながら身一つには懷しき思出のさまざま浮べて獨り笑み獨り悲しみ果ては氷れる涙頰をつたへて眠りもあへず夜を明かしぬ。喜ばしかりしも悲しかりしも何れ選ばず今は美くし。明日を知らざる人間の浮世にはかなき望み持ちてかゝつらふも亦面白きかな。あゝかくて吾は今年を送らんとするか。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

消息

本社に同情を寄せられ左の書翰を送らる

ます〳〵御盡力の功現はれ、新報の光りもいやまし美しうなりまさり候事全く神樣の御力の無限なるをあがめ奉る次第にござ候。

都に遠く從ひ候私共は身も心も後れ勝にて何の働もなく神樣の御用の萬分一をも果す事を得ず、いう〳〵と月日を送り候內愛姉樣方には御一家のつとめの御餘力もて、世のためご盡力遊ばされ候にくらべては、同じく人間と生れ婦人として耻かしき感有之候。

當地にも團體としては二百名にあまる峰山婦人會有之候ところ、力弱き二三の者が神を信ずるのみにて全體に未だキリスト敎の働きこもり居不申、春秋二回の總會にも餘りよき御話もなく只々空しく集ふ有樣にござ候。

あはれ此十分の一の人員にてもあれ、祈禱を以て開會致し候やうなる淸き愛の集りもあらばやと存じ候。斯る土地にては雜誌を無二の友として時々新らしき力をやしなひ候のみ。

御誌も又追々私の友人間にも喜んで受入らるゝ樣に相成嬉しく存じ。何々世界、何々友とて幾何の新雜誌生れ候へども讀み去るのみにて心に殘る淸趣はなく、實に物足らぬ心地致し候を、これは幾度くり返しても感益々深き雜誌となり、體裁も善くなり候事にて雜誌代はまだ〳〵高く遊ばしてもよろこんで拜讀致し候者殖え候はむと存じ候。ます〳〵御奮發被下樣祈上候金貳圓拾錢封入致し候まゝ代價御受被下度云々

丹後國峰山　谷口ちゑ子

婦人新報社御中

訂正

前號所載の貴衆兩院へ年々提出する請願書の中、下段三行「姦通とは有妻」の下に「若くは無妻」の五字を脫せり。謹んで訂正す。(記者)

廓清會運動の近況

廓清會其後の運動を聞くに、同會理事益富政助氏は十一月十八日より廿五日に亘り、鐵道巡回講演の序を以て大に東北地方に廓清運動を試み、秋田市及能代港に於ては兩地靑年會の主催にて大演說會を催ほし、同地方稀有の盛況を見、いづれも多大の感動を與へ、明春は兩地とも支部の發會の運びに至らん程の好況なりといふ。同氏は更に弘前、靑森、盛岡等に於て各有志と會し、同會の主旨を述べて賛助を求め歸京されたり又同月三十日副會長安部磯雄氏は、名古屋基督教靑年會の催しに係る演說會に臨みて大に廢娼論を試みられたり。去月六日より八日に亘り會長島田三郎氏理事益富政助氏は、茨城縣下に遊說を試み、管谷、水戶、下館、眞岡等に於て演說會を開き、各地とも滿堂立錐の餘地なき盛況にて、卽時に數十名づゝの會員を得たりと云ふ。

男子矯風會發會式

去月廿四日明治大學にて發會式を擧られし男子矯風會は、男女間の德義を重んじ、惡風を矯正し、一夫一婦の基礎を固うせんとするにありと云ふ。さきに早稻田に矯風團の起るを聞き、又斯ゝる美擧に接するを得たるは我が婦人矯風會にとりては、益々力を强うするの感ありて喜びに堪へざるなり發起人は左の諸氏なり

陸軍少將　本庄道三
文學博士　村上專精
陸軍大佐　菊野景衛
慶應大學　宮森麻太郎
明治大學　日野川段
平山正次
陸軍中將　谷田文衛
樂生醫院長　酒井岡吉
文學博士　三島毅
南謗太郎
姉川武吉

愛隣女塾のクリスマス

豫て熱心なる工女課々長パンフアインド及同副課長守屋兩女史の監督の許に、橋本とみ子姉主任となりて敎授の勞を執らるゝ愛隣女塾にては去る十四日午後七時半よりクリスマスを執行されたり。來會者四十名餘生徒一同の讃美歌の後、守屋、水野兩氏の工女に適切なる敎話あり中川眞砂姉の祈禱にて閉會、次に贈物福引等あり一同歡に充さる。生徒は漸次增加の模樣にて有望なる由。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

おとづれ

◉本部だより

▲常置員會　十一月廿五日(月)午後三時より會頭室に於て常置員會を催し、本多貞子姉の祈禱を以て會を開き、井深花子姉は前回の記錄を朗讀せらる。出席の方々は、デビス、杉本、守屋、スペンサー、エリス、井深、小崎、湯淺、本多、榎本、栗屋、矢島、高原の諸員にして、本日は格別の議案もなく、直ちに報告及相談會に移りたり。

▲矢島會頭　は談開中新年を迎ふるに際し意見を述べらる(略す)

▲水戸の報告(守屋姉)　水戸の青年部矯風會に屬せらるゝ一二の姉妹が、本年の大會に出席せられしより大に感ずる所あり、種々なる事情の下に迫害あるに不拘ますく奮起し、婦人矯風會の設立を希望して止まざるの結果、今回矢島會頭及小妹を招かるゝに至り、すでに二十有餘の會員を得、不遠發見式を告ぐるに至るべし。尚ほ守屋姉より工女課につき種々の御相談ありたり

▲通信書記報告　大會の決議に基き、萬國本部へミスデビス御留任の件を申出たる書面に對し概略左の意味の御返信ありたり

前略云々、デビス孃が當地の同志間に於ける如く諸姉の間に深き御信賴を受候事實は喜ばしき限りにして亦御書狀の趣も御尤と存じ候、萬々御地の事御察し申上、働の上御都合よろしき樣に計らひ可申は勿論にても、兎に角同孃は五年の期滿ちたる上一先づ歸國致されその上自由の行動に任せるを適當と存じ候云々。

▲デビス姉は今回聖地に巡回傳道中なる渡邊常子姉より同地に矯風會設立の必要を認めたるにより共に活動に從事し得るこの好時期に是非渡臺せられよとの旨來信ありしを以て、諸姉之を可とせられなば、喜んで十二月上旬を期とし奮鬪の途に上らんと發言せられ、出席員一同贊成の意を表したり。終りに主の祈を以て閉會の後會頭より夕食のもてなしありたり。

▲ペンロッド孃の消息　慈愛館增築につき資金募集の爲め先頃渡米せられし同孃は無事御着目下ポートランドにて運動中なりと

◉靜岡婦人矯風會

十月九日午後二時より追手町教會階上に於て綾部姉司會の許に例會をひらく、實業家原崎氏の有益なる實驗談ありて一同大に勵まされたる後、先月以來本會の爲に盡力されたる守屋東子女史の金澤より御歸途を辛ひ大會の事につき委細承り、愈々來年度大會を當地にて引受くる事に決定せり、茶菓を喫し四時半閉會、出席員二十七名(書記山崎孝子)

◉堺婦人矯風會

本年最終の働として十一月十六日午後七時より當市綏通事務所にて演說會を開く。永田とき子姉會を司どり大阪九條教會牧師二宮平二郎氏の演說あり、演題は「新らしき婦人」なりしも來會者は男子多かりしを以て急に題を變じ熱心に說かれたり、要は吾人の價値ある榮ある生涯は天より光に照されて始めて眞の幸福を味ふ事を得る也とて矯風會々員は堅く心を決して世の惡風に染まず却つて矯正せられたしと勵められたり。來會者約五十五六名(書記永田とき)

◉弘前婦人矯風會

畏くも明治天皇陛下の御崩御の後一週日にして一人の娘に永別し、御慰めの御言葉も頂きたりしが、また突然弘前婦人矯風會書記として拾年の久しきに渡り忠實に勤められし高杉つる子姉の令息は空しく天國に旅立たれ實に御同情に不堪候只此上は神の御慰の豐に同御家族の上に加へられん事を祈ると共に、何卒當地のため御祈のせつは御覺え被下度願上候(高谷とく)

◉京都婦人矯風會

拾月廿八日午後三時より同志社女學校に於て救世軍大佐山室氏を聘し、青年會と合併して例會を開く、宮森姉司會にて一同多大の感を與へらる尙近日バザーを開催する爲準備中なり。山室氏の講話は次回に載すべし

◉金澤婦人矯風會

十一月廿五日午後二時半より幼稚園内にて高橋キヨ子夫人司會の許に例會を開き、夫人は外村先生の話されし物語及有益なる感想を談ぜられたり、次に二三名の祈禱あり閉會後水薑あや子夫人には小學校の教師を慰むる事につきて相談其他數會の發展につき協議あり

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

院長診察、月、水、木、金午前、入院、診後應需
林、峰間、兩副長八目下當院ニ在勤

東洋内科醫院

電話本局｛八八八番（病院用）
八九八番（私宅用）

東京神田區駿河臺鈴木町二御茶水橋南

院長

醫學士 高田畊安

相州高座郡茅ケ崎町海濱從停車場半里

南湖院

電話ちがさき二番

河野、高橋、兩兩副長八目下當院ニ在勤
院長診察、土曜日午後、入院、診後應需

（明治四十五年六月廿五日 第三種郵便物認可）婦人新報第百八十六號（大正元年十二月廿五日發行 毎月一回發行 廿四日納本）

復刻版 婦人新報 第4回配本〔第19〜24巻〕

1985年10月25日 発行

定価 60,000円

発行者 船橋 治

発行所 不二出版(株)
東京都文京区本郷5-28-3
〒113 ☎03(812)4433

印刷所 ワールド印刷

製本所 青木製本

乱丁・落丁はお取り替えいたします。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

UC-NRLF

B 4 212 016

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA